

平成22年4月1日から

床面積300㎡以上2,000㎡未満の建築物の新築・増築・改築を行う場合にも省エネルギー計画書の提出が必要です。

これまで、床面積の合計が2000㎡以上の建築物の新築・増築・改築等を行う場合に、義務付けられていた省エネルギー計画書の届出が、省エネ法の改正により、4月1日から床面積の合計300㎡以上の新築、増築、改築等を行う場合に引き下げられます。

下記のいずれかに該当する場合に届出が必要になります。

対象建築物		第一種特定建築物		第二種特定建築物	
用途		住宅	非住宅	住宅	非住宅
届出	新築	床面積が2,000㎡以上		床面積が300㎡以上2,000㎡未満	
	増築	増築部分の床面積が2,000㎡以上		増築部分の床面積が300㎡以上かつ増築面積が全体の1/2以上	
	改築	改築部分の床面積が2,000㎡以上または、改築面積が全体の1/2以上		改築部分の床面積が300㎡以上かつ、改築面積が全体の1/2以上	
	修繕・模様替え	必要 (※裏面参照)		不要	不要
	設備改修	必要 (※裏面参照)	必要 (※裏面参照)	不要	不要
定期報告(3年毎)		必要		不要	必要



届出窓口・問合せ

東部地区

鳥取市の区域 鳥取市都市整備部建築指導課(電話0857-20-3281)

上記以外の区域 鳥取県東部総合事務所生活環境局建築住宅課(電話0857-20-3648)

中部地区

倉吉市の区域 倉吉市建設部景観まちづくり課(電話0858-22-8175)

上記以外の区域 鳥取県中部総合事務所生活環境局建築住宅課(電話0858-23-3235)

西部地区

米子市の区域 米子市建設部建築指導課(電話0859-23-5236)

境港市の区域 境港市建設部都市整備課(電話0859-47-1062)

上記以外の区域 鳥取県西部総合事務所生活環境局建築住宅課(電話0859-31-9753)

問合せのみ

鳥取県生活環境部くらしの安心局住宅政策課(電話 0857-26-7391)

※ 届出が必要な第一種特定建築物の修繕・模様替、設備改修の規模一覧

	2,000 m ² の標準的な規模以上の改修	全体の1/2以上の改修	工事实態を踏まえた規模の改修 (1フロア全ての改修)
屋根、壁、又は床			
屋根	修繕・模様替を行う屋根、壁又は床の面積の合計が2,000 m ² 以上	修繕・模様替を行う屋根の面積が屋根全体の1/2以上	—
壁		修繕・模様替を行う壁の面積が壁全体の1/2以上 (※参照)	—
床		修繕・模様替を行う床の面積が床全体の1/2以上	—
空気調和設備			
熱源機器 (暖房用)	交換する熱源機器の定格出力の合計が300kW以上	交換する熱源機器の定格出力の合計が全体の1/2以上	—
熱源機器 (冷房用)	交換する熱源機器の定格出力の合計が300kW以上	交換する熱源機器の定格出力の合計が全体の1/2以上	—
ポンプ (暖房用)	交換するポンプの定格流量の合計が900L/min以上	交換するポンプの定格流量の合計が全体の1/2以上	—
ポンプ (冷房用)	交換するポンプの定格流量の合計が900L/min以上	交換するポンプの定格流量の合計が全体の1/2以上	—
空気調和機	交換する空気調和機の定格風量の合計が60,000m ³ /h以上	交換する空気調和機の定格風量の合計が全体の1/2以上	1つの階に設置されている全ての空気調和機を交換する場合
空気調和設備以外の換気設備	交換する送風機の電動機の定格出力の合計が5.5kW以上	交換する送風機の電動機の定格出力の合計が全体の1/2以上	—
照明設備	交換する部分の床面積の合計が2,000 m ² 以上	交換する部分の床面積の合計が全体の1/2以上	1つの階の居室に設置されている全ての照明設備を交換する場合
給湯設備			
熱源機器	交換する熱源機器の定格出力の合計が200kW以上	交換する熱源機器の定格出力の合計が全体の1/2以上	—
配管設備	交換する配管の長さが500m以上	交換する配管の長さが全体の1/2以上	—
昇降機	二以上の昇降機を交換する場合	—	—

※ 修繕・模様替を行うことによる省エネ性能の向上が充分に見込めず、また、修繕・模様替の実態として工事が行われない部分 (道路に接していない敷地境界線から1.5m以下の部分) にある壁を除く。



届出書の様式

- [国土交通省「改正省エネルギー法関連情報\(住宅・建築物関係\)」ページ](#)から平成22年4月1日付施行の新様式(WORD)が、無料ダウンロードできます。



省エネ計画書作成支援ツール「BEST」

- [\(財\)建築環境・省エネルギー機構「The BEST Program」ページ](#)から、建築物の総合的なエネルギー消費量をシミュレーションする省エネ計画書作成支援ツール(略称: BEST)が無料でダウンロードできます。